

高等学校のことを知るには

みなさんは、2年生の3学期に通って進路について学んだと思います。今後も計画的にその学習をすすめていく予定です。進路学習には多くの内容がありますが、クラス全員対象に実施できないものもあります。それは各高等学校についての情報を集め詳しく学習することです。理由は簡単で、みなさんの進路希望は一人一人違うからです。したがって、各学校の学習内容や学習環境についての学習は、自分で選んで行う必要があります。つまり自分から積極的に動くことが必要です。積極的に動いて情報を得るには

- ①学校のパンフレットを読むこと。
- ②長岡第三中学校のホームページの中に、京都の公立高校・私立高校の情報が得られるサイトがアップされています。気軽に見ることができるので、どんどん見ていきましょう。
- ③実際に、学校説明会等に参加して、自分の目と耳で確認する。

学年集会で話をしましたが、中学校卒業後の進路について、「どの高校に進学するのか」よりも「どんなふうに高校生活を過ごしたいのか」「どんな勉強をしたいのか」「どんな部活動を頑張りたいのか」「どんな力を身につけたいのか、また伸ばしたいのか」を大切にすることが重要です。しかし、そのことをすべて確認してから、どの高校を選ぶのかを考えるのもひとつですが、並行して高校の説明会等に参加しながら、そのことを深めていくのもひとつです。

高校の説明会などの申し込み方法

さて、もうすでにいくつかの高校のオープンキャンパスや学校説明会の案内を配布していますが、早い高校で5月末や6月から開催されますが、やはり夏休みに入ってからとて多くなります。その申込方法についてですが、それは学校やイベントによって違います。何よりも、自分の進路希望を検討していくということが最も大事なことです。誰がどのイベントに参加したのかは、大切な進路指導資料となります。定期的に、所定の用紙に記入し、担任の先生に提出することにもなります。

申し込み方法は、学校やイベントによって異なりますが、だいたい以下の3パターンとなります。特に現在のコロナ禍になってからは、多くが2の「個人申込」で、また、「人数制限があり先着順」である場合や申込期間が設定されているものが多いことも知っておいてください。

- 1 **申し込みの必要がないもの＝「申込不要」と書かれているもの**
開催日に開催場所に直接行ってください。
- 2 **個人で申し込むもの＝「個人申込」と書かれているもの**
各自で申し込んでください。申し込み方法は
①電話やファックスで申し込み
②QRコードを読み取る、高校のホームページからの申し込み（現在、この方法が一番多い）
③郵送で申し込み

などがあります。急用などでキャンセルする場合、個人申込の時は各個人で高校に連絡してください。

- 3 **中学校から一括して申し込むもの＝「学校申込」と書かれているもの**

本校独自のメット日を設け、参加者の一覧を高等学校に送ります。

この場合、以下の2パターンがあります。

- ①高等学校独自の申込用紙があるもの
進路担当まで申し出てください。申込用紙を渡しますので、それに記入して期限までに提出してください。
（学校によっては3年生全員分を送ってくる場合もあります。全員配布した申込用紙を記入し、進路担当に提出してください。）

- ②高等学校独自の申込用紙がないもの
進路担当まで申し出て下さい。それを元に名簿を作成し、高校に送ります。
学校申込の場合、やむを得ない事情で、参加できない場合の連絡は本校から行いますので、担任の先生に必ず申し出て下さい。**申し込みをしたのに何の連絡もなしに欠席することは信頼関係を損なうことになるので注意してください。**

毎年多くの生徒がいくつもの学校に足を運び、「自分に合った学校」を探します。より多くの学校について知っている方が選択肢が広がることとなりますので、忙しいとは思いますが積極的に参加しましょう。部活動の練習などと重なっている場合には顧問の先生ともよく相談してください。同じ学校が時期を変えて同じ内容の説明会を複数回実施する場合もありますので、あせらずに計画的に参加してください。

高校のイベントと中学校の部活動が重なった場合

公立高校・私立高校とも、早い高校で1学期から、そして多くの高校が夏休みから説明会やオープンキャンパス（校舎などの見学会）を実施します。中には、体験授業であったり、部活動体験を実施する高校もあります。そして、11月12月になれば、入試相談会や個別相談会といったものも開催されます。

さて、1学期は、夏の大会に向けて部活動に励む時期でもあり、その後半には練習試合も毎週のように行われます。毎年多くの方が部活動とイベント参加のどちらを優先すればよいのか悩んでいます。

これまでかけがえのない仲間とともに頑張ってきた部活動に真剣に取り組むことと、高校のイベントに参加して自分のキャリアプランを持つとすることのどちらも大切にしたいのは、すべての人の思いです。ですから、部活動の休日練習や練習試合と各高校のイベントは共に休日の実施であるので、部活動と説明会などが重なった場合、どちらに参加するかは、部活動顧問や担任の先生とも相談の上、最終的には各御家庭の判断にゆだねることとしています。

